◆　第2回　教職員からの「書評コーナー」

００４

「生きる意味」

上田紀行（文化人類学者　著）
（岩波新書740円＋税）

未来を生き抜く指標の一冊です！

　大学入試問題に採用された回数が多い本です。２００４年初版ですが現在３３刷目。その人気が窺えます。大学人が受験生に期待している表れでしょうね。ただ、動機が入試であっても、読んでいくとグローバル社会の中で生きていく意味が問われます。色あせていません。教員として、親として、皆さん自身も耳が痛い箇所がありますが、最後には、今からの社会を生き抜くに当たってのスタンスや考え方が書かれていて、非常に示唆に富み、政治家や、医療関係者にも読んでほしい本です。岩波というと難しいイメージがありますが、読みやすくて、新たな考え方、いや、生き方に出会えます。

★★★

「未来を担う若者には是非読んでほしい！小論文受験生必読！！！」

００５

『　ビジネスマンの父より息子への３０通の手紙　』

キングスレイ・ウォード 著（新潮文庫・590＋税）

社会に出るにあたって愛にあふれたアドバイス！

少し古くなりましたがミリオンセラーとなった本です。ビジネス社会での人としてのルールや心得、さらには生き方を教えてくれる。今では、ちょっと保守的に感じる部分があるかもしれませんが、不易な（変わらない）部分は今でも十分通用する考え方です。各章には、名言等が引用されて教養書としても役立つので有りがたい。「息子」となっていますが、当然、「娘」としても読めますよ。

西洋的な価値観の本かもしれませんが、こんなメンター（導く人）に本で出会えるのはうれしいものです。

★★★

「将来への示唆、父性的な知恵が必要な人は読んでみては？」

００６

『　ガリヴァ旅行記　』

ジョナサン・スウィフト著（新潮文庫・６８０円）

本当は奥深い一冊です！（中級者向け）

皆が知っているのは「小人の国」のお話で、アニメで知っているだけでしょう。それはこの小説の最初の話にすぎません。本当は、１８世紀初めにイギリスの小説家スウィフトが書いた社会批判の本なのです。読み進むと、いろんな国が出てきます。浮島のラピュタも出てくるし、当時はこんな風に思われていた不思議な日本も出てきます。宮崎駿さんはきっと読んだんでしょうね。

既知と思っていたものが、全部を読むと本当は全く違ったものだった、ということはよくありますね。その発想の転換にいい本と思います。人文科学に行く人は是非読むといいでしょう。視野を拡げてみませんか。

★★★

「童心に帰って読むと、いつの間にか大人になっている自分がいます！」

００７

『　ビブリア古書堂の事件手帳
～栞子さんと奇妙な客人たち～』

三上　延（メディアワークス文庫・590円＋税）

本にまつわるちょっとした事件の謎解き！！！

鎌倉の片隅でひっそりと営業をしている古本屋「ビブリア古書堂」。そこの店主は古本屋のイメージに合わない若くきれいだが、圧倒的な本の知識を持つ女性、篠川栞。残念なのは、極度の人見知り。そこでバイトをするようになった五浦大輔。何と幼い頃の経験がトラウマになり活字だけが並んでいる本が全くダメ。そんな二人が本にまつわる事件の謎解きを・・・。第一話は夏目漱石全集（新書版）に絡んだ事件。

★★★

ドラマ化され、映画化もされています。本が大好きな方は必見！！！

００８

『　こころ　』

夏目　漱石（岩波書店　他）

これを読まずに日本文学は語れない！！！

「ビブリア古書堂の事件手帳」の第一話で取り上げられた夏目漱石。漱石といえば日本文学の代表。その中でも「こころ」は人間のエゴイズムを鋭く追及した作品。数ある小説の中でも、最も優れたものと言っても過言ではない。上・先生と私、中・両親と私、下・先生と遺書の3部からなり、私が鎌倉で知り合った先生が例月其日になれば必ず墓参りをしていることに気づくことから物語は始まる。「先生と遺書」で明かされるその理由とは。

★★★

国語の教科書でも取り上げられています。
でもそれは小説のほんの一部。是非通読を！！！

００９

『 風が強く吹いている 』

三浦　しをん著（新潮文庫・979円）

何度読んでも心が熱くなる、駆け出したくなる

箱根駅伝といえば、皆さんも一度は見たことがあるであろう、お正月の風物詩です。そんな箱根駅伝をたった10人で目指す、しかも長距離経験者は２人しかいない、そう聞いたら無謀だと思うでしょうか？これは、そんな無謀とも思える挑戦を描いた青春小説です。個性溢れる１０人が、一本の襷を通して「自分以外の誰かを恃む尊さ」に気づき、今までに見たこともない景色を手に入れていきます。読み終えた後には無性に走り出したくなるぐらい心が熱くなりました。苦手でも好きではなくても、諦めずに立ち向かえば、その挑戦が無駄になるなんてことは絶対になく、勝敗という価値観とは次元の異なる「強さ」を手に入れられることを教えてくれるでしょう。

この本を読めば、何かに挑戦するきっかけになるはず。無限の可能性が広がっている高校生の今だからこそ、皆さんに読んでほしい一冊です。

★★★

今何かに挑戦している人、挑戦したいと考えている人にオススメ